



秋田県立能代高等学校

チームギバサ

秋田県能代市字高埜 2 - 1

ギバサ（アカモク）の塩害防止剤の研究 （塩害対策）



サンプルの水分量と塩分濃度の調査

Action

最近、世界的に耕作地における塩害が問題になってきている。昨年度の先行研究を参考にしてギバサの粘り成分によって塩害が防止できるのではないかと考え研究を始めた。

ギバサを使った先行研究では、ギバサの保水性が確認されている。この時、ギバサ入りの砂を乾燥後、水を下から上へと毛管飽和させたところ、上層部まで水が上がってこなかった。このことから、下から上へ水をブロックできるのであれば水と共に上昇する塩類もブロックできるのではないかと考えた。

結果、実験開始1日目、1週間後、3週間後のサンプル測定において上層部には食塩水がほとんど上昇せずギバサ粘り成分のストッパー的役割が確認できた。

本実験に用いたギバサは、実用の面からは、まだ研究の余地があると思われるが、今後の塩害防止対策は食糧問題にも関係するため、これからも継続的に研究に取り組みたい。